

2011年度 第47回

日本経団連洋上研修

横浜～基隆（台湾）～横浜

2011年10月7日(金)～14日(金) 8日間

総合テーマ

強い組織・熱い職場をつくる

— 困難を克服するリーダーの役割 —



異業種リーダーと語り、自らを磨く
洋上研修ならではの出会いと自己変革

日本経団連洋上研修は、クルーズセミナーの嚆矢として1970年にスタートしました。日常生活とは隔絶した環境のなかで、異なる企業、異なる職種、異なる年代の職場リーダーが寝食をともにしながら、徹底したグループ討議や経験交流によって自らの変革を実感します。洋上ならではの夢の共有、体験の共有、成長の共有があります。



ご参加のお誘い

◆チーフアドバイザー



野田 稔 (明治大学大学院教授)

一橋大学大学院修士課程修了。野村総合研究所経営コンサルティング部部長、多摩大学教授を経て08年より現職。11年5月よりNHK教育「仕事学のすすめ」トランスレーターをつとめる。

著書「組織論再入門」他多数

年間100コース以上の企業研修の講師を行う私にとっても、日本経団連洋上研修は特別な存在であり、毎年とても楽しみにしています。日常を離れた海の上で、初めて出会う他社の人々と昼夜を分かたず真剣に議論する機会は、言ってみれば身近な異文化体験です。また、日本を代表する経営者や、著名な講師とのふれあいは、多くの方にとって得がたい経験となるでしょう。視野を広げ、思考を深める、今考える最高の機会として、この洋上研修を多くの方に強くお勧めします。

募集コース・対象・定員

◆募集コース

- ・管理者コース
(営業、事務などに携わる職場リーダー)
- ・監督者コース
(生産、技術などに携わる現場リーダー)

◆募集対象

- ・企業・団体・労働組合の管理者・監督者、若手リーダー

◆募集定員：250名

総合テーマ

強い組織・熱い職場をつくる — 困難を克服するリーダーの役割 —

東日本大震災を境に日本は、それまでの平和の中で求めてきた変革から、国難を克服し、再建・復興を目指して立ち上がるべく大きく舵を切りました。

復活日本の最大の基盤を担う企業とその第一線を支えるリーダーの役割は、一層重要さを増しています。変化を続ける職場環境の中で、リーダーの使命とは何か、リーダーはいかに向き合い何をなすべきかについて、研修を通して様々な角度から探ってまいります。

日本の礎『強い組織・熱い職場』づくりを目指して、逆風に立ち向かう不屈のリーダー像や職場活性化策について徹底的に議論を戦わせる「大人が変わる8日間」に是非ご参加下さい。



研修目的

- ①管理者・監督者の責務を再認識するとともに、変革に挑戦していくマインドを育てます
- ②団体生活によって職場リーダーにふさわしい規律性、責任感、協調性、積極性を涵養します
- ③変化の潮流を知り、的確な状況判断の仕方や問題解決の方法を習得します
- ④研修を通して、幅広いコミュニケーション能力や人間関係力を身につけます
- ⑤全国から集まる異業種、異職種のリーダーとの強い人的ネットワークづくり
- ⑥海外の異なる文化や価値の多様性に触れることでグローバル感覚を磨きます
- ⑦日常を離れた時空間で自身の生き方、働き方を振り返り、キャリアのあり方を考えます

日程

●第47回洋上研修日程 (予定)

日程	入出港	朝	午前	午後	夜
10/7(金)	横浜出港 12:00	乗 船 9:30	研修ガイダンスⅠ 結団式・壮行式	研修ガイダンスⅡ 課題研修	ウェルカムパーティー
10/8(土)		朝礼・レク	名誉団長講話 マネジメント講座	課題研修	選択講座
10/9(日)		朝礼・レク	マネジメント講座 コース別講座	課題研修	選択講座
10/10(月)	基隆入港 7:00		自由時間 オフショアツアー	自由時間 オフショアツアー	
10/11(火)	基隆出港 19:30		自由時間 オフショアツアー	寄港地研修	
10/12(水)		朝礼・レク	マネジメント講座 コース別講座	課題研修	選択講座
10/13(木)		朝礼・レク	課題研修	課題研修 研修報告会	フェアウェルパーティー
10/14(金)	横浜帰港 14:00	朝礼・レク	研修修了式 班別総括会	下 船 14:15	

研修内容

■名誉団長講話

西田厚聰東芝会長、日本経団連副会長が自身の経営哲学やリーダーシップなどに関する講話を行ないます

■マネジメント講座

アドバイザー、講師が総合テーマに関連して講義を行ないます

■コース別講座

管理者コース、監督者コースに分かれて実務的な講義を行ないます

■寄港地研修

安定した経済基盤を持つ台湾の企業・団体などを訪問し、現地の実情を視察します

■課題研修

- ・洋上研修の中心となる研修で、5~7名のグループ分けを行ない、討議テーマの決定から行動計画の策定まで、討議しながら進めます
- ・民間企業教育担当マネージャーがコーディネーターとして助言、指導などを行ないます
- ・研修報告会では班の代表グループが全団員の前で研修成果を発表します
- ・帰国後、全グループの研修成果をまとめ、報告書を作成します

その他、任意参加型の「選択講座」、朝礼時に運動を兼ねたレクリエーションの実技指導、「星座教室」なども予定しています

団役員・講師

◆名誉団長



西田厚聰（東芝会長）

早稲田大学第一政治経済学部卒。東京大学大学院法学政治学研究科修士課程修了。75年東芝入社。98年常務、03年専務、05年社長などを経て09年より現職。日本経団連副会長。

◆アドバイザー



浜田正幸（多摩大学経営情報学部准教授）

早稲田大学大学院心理学修士課程修了。本田技研工業入社、F1チームのプロジェクトに参画。野村総合研究所を経て現職。人事・組織を中心とした経営コンサルタントとして活躍。著書「会社の仕組みがわかる本」

◆アドバイザー



河合太介（早稲田大学大学院商学研究科非常勤講師）

金融系総合研究所、外資系コンサルティング会社を経て、人と組織のマネジメント研究所「道（たお）」を設立。企業変革、リーダーシップを主テーマに扱っている。著書「不機嫌な職場」他

◆講師



柿内幸夫（改善コンサルタンツ常務取締役）

東京工業大学工学部卒業後、日産自動車入社。スタンフォード大学にて修士課程修了。92年より改善コンサルタンツのチーフコンサルタントとなる。06年慶応大学で工学博士を取得。著書「現場のコトバ」他

参加者の声

- ◎自分と違う意見や考え方を聞き、それを受け入れながら意識改革ができた。自分自身を見直すことができた
- ◎すぐに職場で活かせる考え方を、議論により聞けたのがよかった
- ◎身近な問題をテーマに意見交換していくうちに、話し合いのプロセスが大事であることに気づいた。自分から変革していかなければならない
- ◎講師の方々の講演がとてもためになった。めったに聴けない内容で感動した。また聴きたい
- ◎参加前は人前で発言することもできなかったが、勇気を出して自分の意見を発表し、皆が真剣に聞いてくれて自信がたった
- ◎業種も年齢も違う人たちと親しくなれてよかった。このネットワークを今後も大事にしていきたい
- ◎事前にもっと勉強しておけばよかった
- ◎国家あげてのプロジェクトを見て、そのパワーに驚かされた。このままでは日本の将来が不安である
- ◎研修発表会でのすばらしい発表を聞いているうちにすごく感動した。プレゼンテーションのうまさに驚いた
- ◎フェアウェルパーティーは思いっきり楽しめた。全員がひとつになれたと感じた
- ◎研修修了式は終わったという安ど感とともに、せつかく知り合えた仲間との別れがきてしまったと、思わず涙がでた

アンケート結果

※「第46回洋上研修」参加者および派遣担当者へのアンケート結果（一部抜粋）

【参加者】

- ・洋上研修で学んだことを、職場の実際の業務に活用できていますか

とても活用できている	42%
やや活用できている	55%
まったく活用できていない	3%

- ・洋上研修に参加して自分の意識や行動が変わったと思いますか

とてもそう思う	65%
ややそう思う	35%

- ・研修後、会社に対する意識や仕事に対する取り組み方が変わったと思いますか

とてもそう思う	72%
ややそう思う	28%

【派遣担当者】

- ・研修後、参加者の意識や行動が変わったと思いますか

とてもそう思う	48%
ややそう思う	52%

- ・参加者を派遣した理由は何ですか（複数回答）

研修内容	35%
過去の参加者の声を聞いて	20%
講師陣がよい	12%
全行程船舶利用のため	10%
研修日数が適当	8%
海外に行けるから	5%
その他	10%

主な参加企業(45回～46回)

市金工業社/愛知時計電機/NAAファシリティーズ/OS/大分銀行/岡山ガス/岡山県貨物運送/沖縄瓦斯/カブドットコム証券/キヤノン/九州オーエム/キリンビール/近畿電気/銀泉/工学院大学/鴻池運輸/国際研修協力機構/寿産業/小松ガス/コヤマ/産業雇用安定センター/サンシャインシティ/三洋化成工業/CSSホールディングス/静岡ガス/芝本産業/首都高速道路/シンコー/スギノマシ/西武ホールディングス/セントラル警備保障/タチエス/立飛企業/中越パルプ工業/中電工/筑波学園ガス/東亜工機/東京信用保証協会/東京電設サービス/東京トヨペット/東京貿易機械/東京楽天地/東部瓦斯/東武鉄道/東邦精麦/東洋埠頭/トクヤマデンタル/バコーポレーション/豊蔵組/トヨタ名古屋教育センター/トラベラー/中日本高速道路/中村自工/南総通運/新潟日報サービスネット/日経茨城製作センター/日経大阪製作センター/日経首都圏印刷/日経東京製作センター/日本海産業/日本化学産業/日本原子力研究開発機構/日本新薬/日本通運/日本ニューホランド/日本メックス/日本ユニカー/東日本旅客鉄道/久光製薬/日立製作所/福井トヨタ自動車/北陸電気保安協会/マルナガロジスティクス/三菱電機特機システム/三菱マテリアル/名糖運輸/ヤナセテック/リケンテクノス (五十音順)

使用船舶



大型客船「ふじ丸」(2万3235トン/日本チャータークルーズ所属)

ご参加について

募集コース

- ◆管理者コース (営業、事務などに携わる職場リーダー)
- ◆監督者コース (生産、技術などに携わる現場リーダー)
- ・募集定員は両コース合わせて250名となります
- ・課題研修でのグループ編成は管理者コース、監督者コース別に行ないます
- ・若手リーダー、労働組合メンバーの方もいずれかのコースに所属します

参加費

- ◆船室2人部屋 398,000円(税込)
- ◆船室1人部屋 498,000円(税込)
- ・参加費はお1人様の代金です
- ・5～9名参加の場合は5%引き、378,100円(税込、2人部屋)、10名以上参加の場合は10%引き、358,200円(税込、2人部屋)となります
- ・1人部屋ご希望の場合は、船室に限りがありますのでお早めにお申し込みください
- ・同一企業から複数お申し込みの場合の相部屋の指定はお受けできません
- ・部屋割りはできるだけ公平に行ないますが客船のため、同じ階数、同じタイプの部屋をご用意できないことがあります
- ◆参加費に含まれるもの
- ・船賃; 研修日程中の食事代、研修および研修教材費、寄港地研修費、渡航事務手続代、海外旅行団体保険料、国内消費税
- ◆参加費に含まれないもの
- ・旅券取得印紙代、国内交通費、前泊宿泊費、任意の海外旅行保険料、オプションツアー代、個人的飲食代、クリーニング代、電話代

お申し込み方法

- ・別添「参加申込書」に必要事項をご記入の上、**9月2日(金)**までにお申し込みください
- ・「参加申込書」はファクシミリまたは郵便でお送りください
- ・「参加申込書」を受領次第、ご請求書をお送りいたします。その後、取扱旅行代理店より渡航手続きに関するご案内等書類一式をお送りいたします
- ◆参加のお取消し
- ・参加申し込み後の取消しについては1名につき次の取消料をご負担いただきます
9月6日以降80,000円、9月20日以降180,000円、出港前日300,000円、出港当日全額
- ◆その他
- ・体調等にご懸念がある場合には事前に事務局までご相談ください
- ・渡航手続きに関する事項、前泊、オプションツアーについては後日、旅行取扱代理店より別途ご案内いたします
- ・天災地変、社会騒擾、官公署の命令、疾病の発生などにより研修を中止または日程や内容を変更する場合があります
- ・お預かりした個人情報、当法人の個人情報保護規定などにもとづき適正に管理いたします

日本経団連事業サービスホームページ : <http://www.keidanren-jigyoservice.or.jp/>

内容についてのお問い合わせ

日本経団連事業サービス 「洋上研修」係

TEL.03-6741-0042

FAX.03-6741-0052

受付時間/9:30AM～5:00PM (土日・祝休み)

洋上研修のブログをご覧ください。

<http://jigyoservicekensyu.blog11.fc2.com/>

「日本経団連洋上研修」に関する情報や参加者の声などをお伝えしていきます。現在、2010年度に実施した第46回における講演の要旨、寄港地研修報告などを掲載しています。